II. doi: 10.18999/bulsea.65.202

# 第9回西尾市岩瀬文庫見学会

加藤直志

【抄録】 希望者を対象に、西尾市岩瀬文庫の見学会を実施した。学芸員や大学教授の先生から、岩瀬文庫の紹介や古典籍調査についてのお話を伺ったあと、実際に同文庫が収蔵する古典籍の一部を手にとって閲覧させていただいた。通常の古典の授業では学べない、我が国の書物文化について伝えようとする企画であった。また、同日は、特別展「考古遺物の美と謎」が開催中であり、こちらについても考古学専門の学芸員の先生の解説のもとで、見学することができた。

## 【キーワード】 西尾市岩瀬文庫 古典籍 古典教育

2019 (令和元) 年7月25日 (木)、第9回西尾市岩瀬 文庫見学会を開催した。国語科・加藤直志、瀬古淳祐、 社会科・曽我雄司、理科 (生物)・齋藤瞳の4名で引率 した。事前に参加希望者を募り、当日は、中1~高2ま での希望者26名が参加した。

岩瀬文庫は、1908(明治41)年に、西尾市の実業家岩瀬弥助が設立した私立図書館が起源で、戦後西尾市の施設となり、現在に至っている。同文庫には、『後奈良天皇宸翰般若心経』(重要文化財)、『枕草紙』(岩波書店の日本古典文学大系『枕草子』の底本)をはじめとする貴重な蔵書が約8万冊収蔵されている。

同文庫では、2000 (平成12) 年度より、新目録完成を目指した平成悉皆調査を実施しており、筆者が学生時代にその調査に参加していた。その縁もあり、同文庫の学芸員でいらっしゃる林知左子先生、青木真美先生、浅岡優先生、同文庫資料調査会会長で名古屋大学大学院人文学研究科教授の塩村耕先生のご協力のもと行った。

午前中、学芸員の先生方から岩瀬文庫の説明を受けた後、解説していただきながら、常設展、特別展の順に見学した。午後は、通常非公開の新・旧の書庫見学の後、実際に古典籍を手にとって見せていただいた。『後奈良天皇宸翰般若心経』、『枕草子』のほか、『本草図説』『源氏物語』『万葉集』などを閲覧した。生徒達は、くずし字に苦戦しながらも、何とか読もうと努力していた。最後に、塩村先生による、古典籍についての学術調査に関する講義を聞き、見学会を終了した。今回初めての試みとして、参加した生徒から学芸員の先生への質問タイムも設けた。中高生からは、「学芸員のやりがいとは?」「岩瀬文庫の本は、どこに何があるか把握しているのか?」といった質問が出ていた。

昼休みには、例年通り、休憩室で西尾名物の抹茶を注 文するなど、参加した生徒達にとっては、古典籍以外で も楽しい一目になったようである。

なお、本稿執筆時点で、2020年度の見学会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら中止が決定している。

#### 参加した生徒の感想(一部)

私が今回の岩瀬文庫の見学会で心に残ったのは、塩村 先生のお話だ。先生の本を見せていただきながら、様々 なお話をうかがった。その中でも特に、「どうして古文 を勉強するのか」ということが印象深かった。これまで 自分は、今日常で使う言葉とはほとんど違う古文をなぜ 勉強しなくてはならないかと思っていた。しかし、先生 が、古文を勉強しないといずれはだれも読めなくなり、 昔の記録が分からなくなってしまうと話されていたのを 聞いて、もし未来の人が今の言葉を読めなくなって、自 分たちが残したものが誰にも伝わらなかったら寂しいよ うな気がした。古文の勉強は、昔からの歴史を未来に伝 える大切なことだと分かった。

他にも、昨年は出来なかった、旧書庫の見学も興味深かった。昔なりにできるだけ本を大切にしようとする工夫がたくさん見られたからだ。 (中学2年生)





### 西尾市岩瀬文庫見学会参加者の皆さんへ

#### 当日(7月25日)のタイムスケジュール

8:50 集合 (<u>時間厳守!</u>)

名鉄金山駅中央改札口

9:09 金山駅発 特急 (一部特別車) 豊橋行き

9:29 新安城着

9:37 新安城発 普通西尾行き

9:58 西尾口着

徒歩(おそらく暑いので飲み物持参がよい)

10:15 岩瀬文庫着

10.10 石枫入戶1			
		1 班	2 班
	10:15~11:00	DVDによる岩瀬文庫の紹介・	・学芸員の先生への質問タイム
	11:00~12:00	常設展・企画展	昼食休憩
	12:00~13:00	昼食休憩	常設展・企画展
	13:00~14:00	古典籍閲覧	書庫等見学
	14:00~15:00	書庫等見学	塩村先生のお話
	15:00~16:00	塩村先生のお話	古典籍閲覧

- ○DVD視聴後、「学芸員の先生への質問タイム」を設けます(今回初)。
- ○「常設展・企画展」「古典籍閲覧」「書庫等見学」は、学芸員の先生がご案内くださいます。
- ○「塩村先生のお話」は、名古屋大学大学院人文学研究科教授 塩村 耕 先生 から 古典籍の学術調査に関するお話をうかがいます。
- ●昼食会場となる休憩室の座席数が限られるため、今年から、1班と2班の昼食時間をずらしました。周辺の飲食店やコンビニを利用したり、公園内で昼食をとったりしても構いません(コンビニ徒歩3分)。また、当日の天気次第ですが、外はかなり暑いことも予想されますので、熱中症に十分注意してください。
- ●休憩室では西尾名物の抹茶などを飲むことができますが、有料です。
- ※例年、早めに帰りたい人は、15時ごろに出発していましたが、昼食時間をずらして日程 を組んだため、早く帰る場合はすべての内容に参加することができません。ご了承くだ さい。
- ※<u>最後まで参加した場合、金山駅到着は、17時を過ぎます</u>。保護者に連絡しておいてください(特に中学生)。

### 持ち物・服装

制服着用、昼食(飲食店などを利用してもよい)、(暑いかもしれないので)飲み物、筆記用具 (<u>鉛筆</u>)、<u>自宅から金山駅までの往復交通費</u>、<u>金山駅から西尾口までの往復交通費(1,460円)</u>。

古典籍に触れますので、爪は切っておくこと。指輪、時計はその場で外してもらいます。

#### その他

当日、急病などで欠席する場合は、8時30分までに学校に電話してください。 台風接近などの際にはやむをえず中止する場合もあります。その場合は、学校のホーム ページに掲載します。